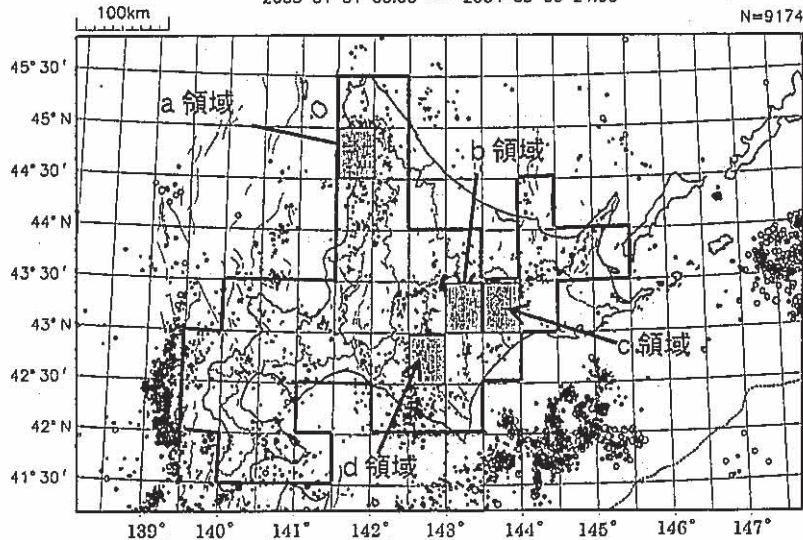


# 十勝沖地震前後の内陸の浅い地震活動

震央分布図 (2003 年 1 月 1 日以降、 $M \geq 0.5$ 、30km 以浅)

2003 01 01 00:00 -- 2004 05 06 24:00

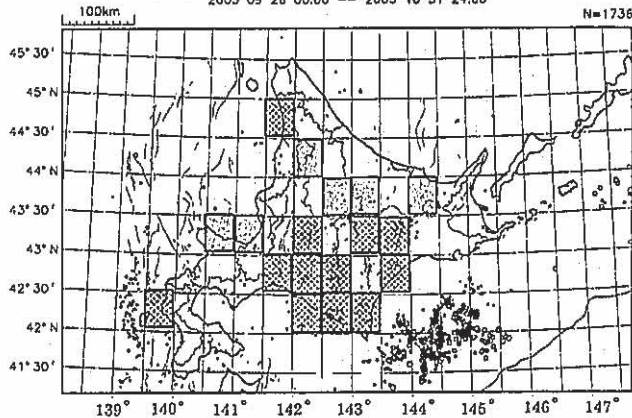


北海道を緯度経度 30 分のメッシュで区切り、十勝沖地震発生後の 4 期間 (十勝沖地震~10 月、11~12 月、1~2 月、3 月~最近まで) について、期間合計 10 個以上のデータが得られた各メッシュ (左図の矩形内) 毎の地震活動状況が、通常より活発かどうかについて、デクラスタリング処理\*も含めて調べてみた。a~d の領域では、十勝沖地震後の活発な状態が続いている。また、3 月以降では、北部および東部にも活発なエリアが多く分布している。

\*震央距離 10km、日数 10 日以内の範囲に入る地震のうち、規模の大きな地震を残す処理を行った。

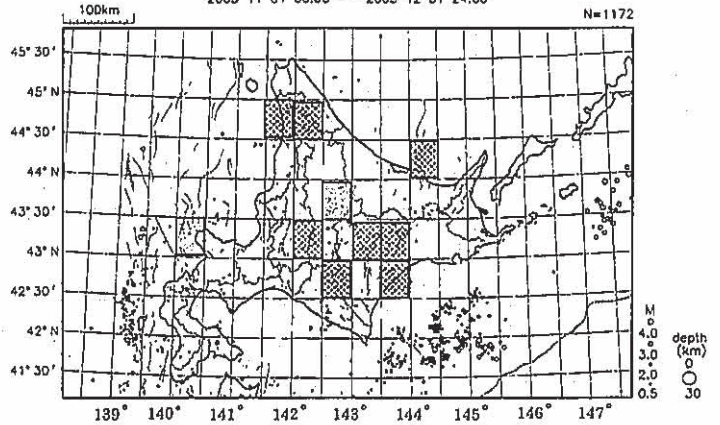
十勝沖地震~10 月まで

2003 09 26 00:00 -- 2003 10 31 24:00



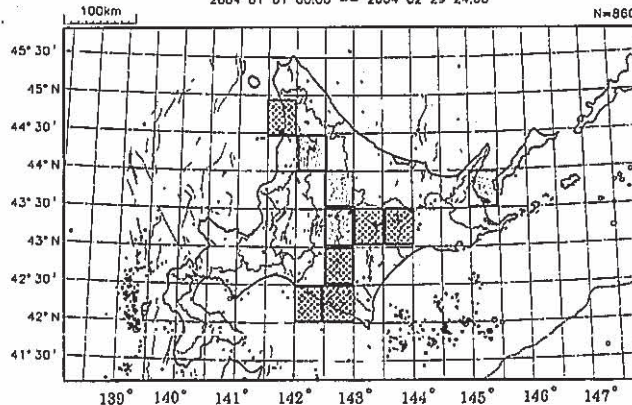
11 月~12 月まで

2003 11 01 00:00 -- 2003 12 31 24:00



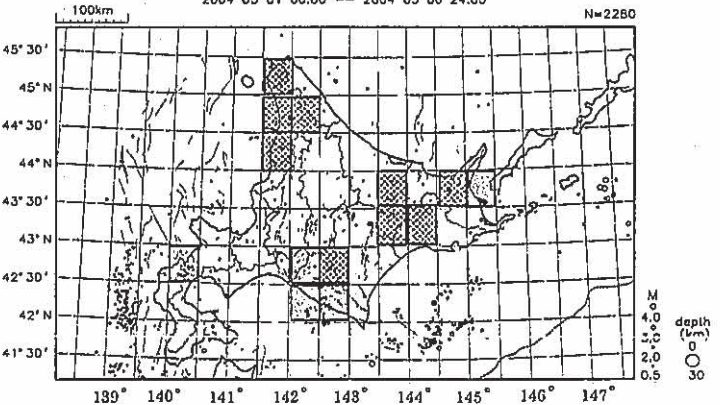
1 月~2 月まで

2004 01 01 00:00 -- 2004 02 29 24:00



3 月~最近まで

2004 03 01 00:00 -- 2004 05 06 24:00



■ : デクラスタ処理の有無によらず、通常より活発な活動レベルの領域

□ : デクラスタ処理無しで活発、デクラスタ処理有では通常の活動レベルにみえる領域

各領域の地震回数積算図 (上) および地震活動経過図 (規模別、下) .....デクラスタ処理無し

